

平成26年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 アルフレッサ ホールディングス株式会社
 コード番号 2784 URL <http://www.alfresa.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石黒 傳六

問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 財務・広報IR担 当 (氏名) 三宅 俊一

TEL 03-5219-5102

四半期報告書提出予定日 平成26年8月11日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第1四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第1四半期	585,491	△4.9	6,339	12.8	9,018	8.3	6,038	24.0
26年3月期第1四半期	615,925	4.8	5,619	△17.5	8,327	△10.5	4,871	14.9

(注) 包括利益 27年3月期第1四半期 7,549百万円 (59.7%) 26年3月期第1四半期 4,728百万円 (△0.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第1四半期	107.99	—
26年3月期第1四半期	88.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第1四半期	1,157,787	314,245	27.1
26年3月期	1,169,546	305,436	26.1

(参考) 自己資本 27年3月期第1四半期 314,045百万円 26年3月期 305,233百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	49.00	—	55.00	104.00
27年3月期	—	—	—	—	—
27年3月期(予想)	—	55.00	—	55.00	110.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,223,000	0.1	12,400	1.9	16,900	1.3	10,200	4.8	182.40
通期	2,527,000	0.9	28,800	△17.6	38,000	△14.7	21,000	△17.9	375.54

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細につきましては、[添付資料]P. 3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期1Q	58,754,400 株	26年3月期	58,754,400 株
② 期末自己株式数	27年3月期1Q	2,835,319 株	26年3月期	3,420,144 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期1Q	55,919,502 株	26年3月期1Q	55,337,098 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 業績予想に関する事項につきましては、[添付資料]P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成26年4月1日～6月30日)におけるわが国経済は、デフレ脱却に向けた政府の経済政策により緩やかな回復基調は続くものの、消費税率引き上げに伴う需要の影響等によって、一時的に成長率が鈍化したしました。

当社グループは、企業価値の増大に向けて、平成28年3月期を最終年度とする中期経営計画「13-15中期経営計画変革への挑戦～次なる頂(いただき)を目指して～」に掲げた経営目標を達成するために、引き続き取り組みを強化しております。

本年4月、診断薬卸売事業における事業基盤の更なる強化に向けて、高知県および徳島県・愛媛県に強い営業基盤を持つ篠原化学薬品株式会社(本社:高知県高知市 現在の商号:アルフレッサ篠原化学株式会社)を完全子会社とする株式交換を実施いたしました。また、多様なお客様ニーズに対応し、お客様満足向上をはかるために、本年10月に、四国アルフレッサ株式会社の診断薬卸売事業を同社に集約することを決議いたしました。

当社グループの当第1四半期連結累計期間における売上高は5,854億91百万円(前年同期比4.9%減)、営業利益は63億39百万円(前年同期比12.8%増)、経常利益は91億91百万円(前年同期比10.4%増)、四半期純利益は60億38百万円(前年同期比24.0%増)となりました。

各セグメントの業績は、以下のとおりであります。

[医療用医薬品等卸売事業]

今春の診療報酬改定を受け平均2.65%の薬価引き下げと、消費税率引き上げに伴う需要の影響に加えて、後発医薬品調剤体制加算の制度見直し、DPC制度導入先における使用薬剤の見直し等で後発医薬品への切り替えが進んだため、医療用医薬品市場は3.3%のマイナス成長(クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推定)となりました。こうした中、当社グループは、新製品の販売に注力するとともに、引き続き、業界の最重要課題である「流通改革」の推進に向けた活動を積極的に行っております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,350億25百万円(前年同期比4.8%減)、営業利益は62億33百万円(前年同期比15.0%増)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高27百万円(前年同期比149.9%増)を含んでおります。

[セルフメディケーション卸売事業]

セルフメディケーション卸売事業におきましても、一般用医薬品、健康食品・サプリメント等の一部で消費税率引き上げに伴う需要の影響がありましたが、利益率の高い専売商品へ販売を注力し、安定的な利益の確保に努めました。

セルフメディケーション商品に特有の季節変動要因も加わり、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は467億95百万円(前年同期比6.4%減)、営業損失は87百万円(前年同期は営業損失2億16百万円)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高1億21百万円(前年同期比20.6%減)を含んでおります。

[医薬品等製造事業]

医薬品等製造事業におきましても、今春の薬価引き下げと消費税率引き上げに伴う需要の影響等を受けて、販売が低迷いたしました。こうした中、医薬品固形剤や体外用診断薬製品の生産量増大に対応するために、本年1月、岡山製薬工場に包装棟を新築稼働させたことに続き、本年5月より、同工場敷地内において、新配送センターの建設を開始いたしました。なお、新配送センターは現行の配送センターの保管能力を拡大・強化し、来年1月の稼働を予定しております。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は59億43百万円(前年同期比7.2%減)、営業利益は1億67百万円(前年同期比47.2%減)となりました。なお、売上高には、セグメント間の内部売上高21億23百万円(前年同期比6.1%減)を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

〔資産の部〕

当第1四半期連結会計期間末における総資産は1兆1,577億87百万円となり、前連結会計年度末より117億59百万円減少いたしました。これは主に「有価証券」の増加249億96百万円および「投資有価証券」の増加75億28百万円があった一方で、「受取手形及び売掛金」の減少221億27百万円、「現金及び預金」の減少139億62百万円ならびに「商品及び製品」の減少111億89百万円があったことによるものであります。

〔負債の部〕

負債は8,435億41百万円となり、前連結会計年度末より205億69百万円減少いたしました。これは主に「未払法人税等」の増加56億8百万円および「その他（の流動負債）」の増加42億53百万円があった一方で、「支払手形及び買掛金」の減少309億66百万円があったことによるものであります。

〔純資産の部〕

純資産は3,142億45百万円となり、前連結会計年度末より88億9百万円増加いたしました。これは主に、自己株式を用いて篠原化学薬品株式会社を完全子会社とする株式交換を実施したこと等による「資本剰余金」の増加36億89百万円および「自己株式」の減少2億円に加えて、「利益剰余金」の増加34億9百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本年5月9日に公表いたしました業績予想からの変更はありません

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(退職給付に関する会計基準等の適用)

「退職給付に関する会計基準」（企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。）および「退職給付に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第25号 平成24年5月17日。以下「退職給付適用指針」という。）を、退職給付会計基準第35項本文および退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて当第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務および勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の帰属期間方法を期間定額基準またはポイント基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法についても、期末日時点における従業員の平均残存勤務年数に相当する国債利回りに基づく方法から、退職給付の支払見込期間および支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法へ変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従って、当第1四半期連結会計期間の期首において、退職給付債務および勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第1四半期連結会計期間の期首の退職給付に係る負債が5億61百万円減少し、利益剰余金が3億93百万円増加しております。また、当第1四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微です。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	121,025	107,063
受取手形及び売掛金	604,144	582,017
有価証券	34,996	59,993
商品及び製品	128,367	117,178
仕掛品	650	534
原材料及び貯蔵品	1,902	2,133
その他	56,448	59,468
貸倒引当金	△308	△240
流動資産合計	947,226	928,148
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	36,475	35,861
土地	62,780	62,925
その他(純額)	11,211	12,620
有形固定資産合計	110,467	111,407
無形固定資産		
のれん	3,722	3,436
その他	5,662	5,344
無形固定資産合計	9,384	8,781
投資その他の資産		
投資有価証券	87,503	95,031
その他	19,351	18,878
貸倒引当金	△4,387	△4,460
投資その他の資産合計	102,467	109,449
固定資産合計	222,320	229,638
資産合計	1,169,546	1,157,787

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成26年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	799,280	768,313
短期借入金	848	833
未払法人税等	2,023	7,631
賞与引当金	7,386	7,971
その他	14,532	18,786
流動負債合計	824,071	803,537
固定負債		
長期借入金	636	1,022
退職給付に係る負債	17,405	16,828
その他	21,997	22,152
固定負債合計	40,039	40,003
負債合計	864,110	843,541
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,454	18,454
資本剰余金	100,110	103,799
利益剰余金	159,954	163,363
自己株式	△1,196	△996
株主資本合計	277,321	284,621
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	32,113	33,628
繰延ヘッジ損益	0	△0
土地再評価差額金	△4,341	△4,341
為替換算調整勘定	137	116
退職給付に係る調整累計額	2	20
その他の包括利益累計額合計	27,911	29,424
少数株主持分	202	200
純資産合計	305,436	314,245
負債純資産合計	1,169,546	1,157,787

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年6月30日)
売上高	615,925	585,491
売上原価	576,562	545,060
返品調整引当金戻入額	785	715
返品調整引当金繰入額	645	765
売上総利益	39,502	40,380
販売費及び一般管理費	33,882	34,041
営業利益	5,619	6,339
営業外収益		
受取利息	55	33
受取配当金	881	1,031
受取情報料	1,474	1,404
その他	477	554
営業外収益合計	2,889	3,023
営業外費用		
支払利息	37	32
不動産賃貸費用	21	27
持分法による投資損失	55	55
その他	66	55
営業外費用合計	181	171
経常利益	8,327	9,191
特別利益		
固定資産売却益	1	10
投資有価証券売却益	105	0
特別利益合計	107	10
特別損失		
固定資産売却損	0	40
固定資産除却損	160	28
減損損失	104	86
投資有価証券評価損	—	2
関係会社事業損失引当金繰入額	—	172
特別損失合計	264	331
税金等調整前四半期純利益	8,169	8,870
法人税、住民税及び事業税	2,072	8,908
法人税等調整額	1,210	△6,074
法人税等合計	3,282	2,834
少数株主損益調整前四半期純利益	4,886	6,036
少数株主利益	15	△2
四半期純利益	4,871	6,038
少数株主利益	15	△2
少数株主損益調整前四半期純利益	4,886	6,036
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△207	1,515
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	48	△20
退職給付に係る調整額	—	18
その他の包括利益合計	△158	1,513
四半期包括利益	4,728	7,549
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,712	7,552
少数株主に係る四半期包括利益	15	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

セグメント情報

I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメデ イケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	561,934	49,848	4,142	615,925	—	615,925
セグメント間の内部売上高 または振替高	11	152	2,262	2,426	△2,426	—
計	561,945	50,001	6,404	618,351	△2,426	615,925
セグメント利益または損失(△)	5,421	△216	316	5,521	97	5,619

(注) 1. セグメント利益または損失の調整額97百万円には、セグメント間取引消去1,496百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,398百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高および利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 財務諸表 計上額 (注) 2
	医療用 医薬品等 卸売事業	セルフメデ イケーション 卸売事業	医薬品等 製造事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	534,997	46,673	3,820	585,491	—	585,491
セグメント間の内部売上高 または振替高	27	121	2,123	2,272	△2,272	—
計	535,025	46,795	5,943	587,764	△2,272	585,491
セグメント利益または損失(△)	6,233	△87	167	6,312	26	6,339

(注) 1. セグメント利益または損失の調整額26百万円には、セグメント間取引消去1,515百万円および各報告セグメントに配分していない全社費用△1,488百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益または損失は四半期連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。